

<目次>

●川崎の中学校の校則 おかしくない？

■町ぐるみの反対運動で要求実現を！（新飛行ルート）

▲ お知らせコーナー

☆6/11新飛行ルート川崎駅東口宣伝

☆6/11 子ども甲状腺がん裁判を支援するつどい

☆6/15川崎市議会代表質問が始まります。

☆6/8陳情・請願締切り

☆6/17・18 西加瀬プロジェクトアセス説明会

☆6/19 川崎母親大会

☆6/25ゆめシネマ「コスタリカの奇蹟」

★ 編集後記

●川崎の中学校の校則 おかしくない？

ー川崎区で中3,小4の子育て中の保護者よりー

中3の娘は、2020年4月の中学入学なのでアベ元首相による突然の休校要請で、6年生3月を失われた学年でした。

不安の中での入学式、緊張した様子の娘を校舎へ送りました。

保護者は入学式前に、学校からの挨拶を受け、「安心した居場所になるよう心がけます」の言葉に安心しました。

ところが、無事入学式が終わり、帰る時、娘が「見て、これ」と言います。

なんと自宅で結んだピンクの髪ゴムが黒い髪ゴムに変わっています。

入学式前の15分ほどの学活で、身なりのチェックがあったとのこと。

世の中が不安だらけの中の中学スタートが、身なりチェックから始まったこと、子ども達の意味も確認せずに、用意しておいた黒ゴムに替えさせたことに怒りを覚えました。

「何それ！」の私の声にたまたま隣にいた保護者も、「それ、おかしい」「この3年で校則なくそう」「やりましょう」と、意気投合しました。

私は、保護者達のつながりがたくさんあったので、この出来事を話まくっていたら、保護者達が、我が子に起きた理不尽な出来事を私に連絡してくるようになりました。

その中には、入学して初めて担任と保護者が面会した3者面談の際、親子で教室に入るなり挨拶もせず「その靴下！」とくるぶしが出ているスポーツソックスを注意された、という事例があります。

私が一番問題だと思っているのが、「ルールの中身がどうこう」でなく、「ルールはあるんだから守ればよい」と学年集会で、学年主任が発信していることで、教育目標の自主

自立と相反することを堂々と言っていることです。

その後も、子どもや保護者達の声が集まり、理不尽な出来事があった時には校長室に行ったり、教育委員会に電話したり、私は、去年の12月に川崎市の議員さんに議会で校則問題を提起してもらいました。

また次の市議会で、さらに踏み込んだ要望と質問をしていただこうと考えています。

■町ぐるみの反対運動で要求実現！

＝東京港区議会で新飛行ルート実態調査の請願を採択させたお話を聞いて＝

4月22日、「羽田増便による低空飛行ルートに反対する区民の会」の拡大世話人会に、東京都港区で低空飛行に反対している「みなとの空を守る会」共同代表の増間碌郎さんを迎え、「町会との共同の取り組み」をすすめてきた経験を聞きました。

「みなとの空を守る会」は、「羽田都心飛行ルートの住民・勤労者を対象とした実態調査と調査結果の公表を求める請願」を18町会と共同し、紹介議員19名の協力で提出、区議会で採択されました。

増間さんはご自身も町内副会長ですが、町会長訪問では、始めはどこの人間かといぶかしがられたそうです。

それでもめげずに、地域の人声を聞こうと、7ヵ所で懇談会を開きました。

「うるさい」「そういう事は知らなかった」など多くの声が出されたそうです。

駅前やスーパー・商店街での宣伝や取り組みを続け、町内会のイベントにも参加するうちに、今では航路下の町会掲示板に、「会」のチラシを貼らせてくれるようになりました。そして、14町会と「共同アピール」を発表することになります。

ある町会長は、「町会の会合では宗教と政治はご法度だが、飛行機の話は生活の問題」と発言してくれたそうです。

増間さんの「何度でもあきらめずに訪ねることで、航路下に暮らす者同士、立場の違いをこえて共同できる。

地元の声を区は無視できなくなった。」とのお話に、声を上げ続けること、あきらめないで繰り返し取り組む事の大切さを改めて教えて頂き、心にひびきました。

(川崎区民の会：山田美枝子)

▲ お知らせコーナー

☆羽田増便による低空飛行ルートに反対する区民の会からのお知らせ

① JR川崎駅東口宣伝 6月11日(土)14時～15時

② 飛行ルート問題がよくわかるパンフレット普及中です。1冊500円

連絡先 橋孝 044-287-7313

橋本勝雄 katuso.hashimoto@gmail.com

☆ 子ども甲状腺がん裁判を支援するつどい

6/11(土)18時半より

エポックなかはら第3会議室(7F)

資料代500円 チケットあり

講師：河合弘之弁護士(子ども甲状腺がん裁判副団長)

主催：脱原発川崎市民

瀬川 090-2209-9730 木瀬 080-3494-2411

☆ 川崎市議会代表質問

6/15 AM 自民党 PM 共産党

6/16 AM 公明党 PM みらい

☆ 陳情・請願の締切り

1回目 6/8(水)17時

2回目 6/27(月)17時

☆ 西加瀬プロジェクトに関わる条例環境影響評価準備書説明会

第1回 6/17(金)19時より

第2回 6/18(土)19時より

川崎市生涯学習プラザ401大会議室

問合せ：044-200-2156

☆ 川崎母親大会

6/19(日)10時～16時 サンピアン(労働会館)

10時～映画「お菓子放浪記」

13時～サークルネねぎぼうずハンドベル

講演：平和な世界を手渡そう！—地球はみんなの故郷(ふるさと)だから—

講師：井田徹治(科学ジャーナリスト)

☆ ゆめホールシネマ倶楽部 「コスタリカの奇蹟」

敵基地攻撃能力・軍事費GDP比2%へなどが言われています。

国を守るには軍備しか無いのか。軍隊を廃止したコスタリカを通して考えましょう。

6/25(土) ①9時 ②12時 ③15時 ④18時

かわさきゆめホール

一般：1000円 障がい者：500円 学生以下：200円

連絡先：044-433-3003

hall@kawasakiyume.com

★ 編集後記

小児医療費助成制度の拡充を求める請願を巡って熱い議論が交わされています。神奈川県保険医協会は、対象年齢引上げ、一部負担金の撤廃などを求めて署名活動を展開してきました。

これまでに、第一次提出を2019年6月に6,177筆、8月に187筆追加提出。

議会審議は2019年8月、文教委員会にて審査され「継続審議」となってしまいました。

2021年9月には3991筆追加提出、合計10355筆の署名を提出していて、更に追加で提出する運動が進められています。

「継続審議」と言うと署名を積み増せば再び審議されそうな印象を持ちますが、事実上の不採択です。

新しい署名を集め、紹介議員を増やして、古い署名を一旦取り下げたうえで再び署名を提出する。と言うのが、再び審議させ、採択に持つて行くための効果的な戦術となります。

今、与党からも制度拡充の声が高まっているとき、一気に新しい署名を集めて請願し直すことは積極的な行為です。

慎重論も根強いようですが、見守っていきたい。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆